

決算総括質疑通告議員

令和3年第5回（9月）定例会

- 1 宮 澤 一 照
- 2 丸 山 政 男
- 3 天 野 京 子
- 4 堀 川 義 徳
- 5 霜 鳥 榮 之

決算総括質疑通告要旨

令和3年第5回（9月）定例会

1 宮澤 一 照

1 財政指数等の推移と歳入歳出について

- 1) 財政調整基金の積立金現在高は増加で推移している。令和2年度決算において、財政調整基金は取り崩していないが、考えはどのようなか。
- 2) 歳入歳出決算状況からみたコロナ禍における市民の負担をどのように捉えているか。
- 3) 市税等に関する不納欠損処分で固定資産税が多い理由はどのようなか。

2 広報広聴活動推進事業について

- 1) フェイスブックのフォロー数の推移はどのようなか。
- 2) 市報みょうこうにおける効果的活用とはどのような観点からの考えか。
- 3) 市長への手紙の内容と反映された点はどのようなか。
- 4) 地図投稿アプリ「Mレポ」の効果は具体的にどのようなか。

3 地方創生推進事業について

- 1) 地域力創造アドバイザー制度の活用により、市の事業推進に向けた助言の内容はどのようなか。
- 2) 地域力創造アドバイザー謝金の内容はどのようなか。
- 3) 新たな事業の創出に向けた調査研究において視察先はどのようなか。

4 関係人口創出拡大事業について

- 1) ワークेशन効果検証委託について、委託先と検証結果内容はどのようなか。
- 2) コーディネート組織の構築による商品開発の内容はどのようなか。
- 3) 地質調査委託について、委託先はどのようなか。

5 教育振興事業について

部活動指導員制度について、外部指導者の労働環境はどのようなか。

6 特色ある教育活動支援事業について

仮設トイレ借上料の内容はどのようなか。

2 丸山政男

1 家庭児童相談・子どもの虐待防止事業について

- 1) 妙高市での児童虐待相談は 403 件と大変多い数値である。子どもの虐待等の相談内容と対応はどのようなか。
- 2) 児童虐待 403 件のうち解決されている件数、相談等の対応が続いている件数はどのようなか。

2 生活保護事業について

令和 2 年度決算での保護世帯数は 196 世帯となり、前年対比では減少となっている。コロナ禍の関係で、生活困窮者の増加もあったと考えるが、相談対応等によりどのように捉えているか。

3 天野京子

1 道の駅あらい整備事業について

- 1) 道の駅あらいは、全国で 35 箇所ある「重点道の駅」として選定され、有事の際には大型災害救援車両の拠点となるが、それらの出入りに支障はないか。
- 2) 今年は 250 センチメートルを超える積雪量であったため駐車場内に雪が山のようにならまっていた。防災施設であれば融雪機能が必要ではないか。
- 3) 常日頃から防災広場をキャンプや野外料理講習会、学校行事・町内会行事に貸し出すなど施設に親んでもらえる取り組みの考えはないか。

2 「妙高市民の心」推進事業について

- 1) ALL妙高あいさつ運動の実施は4月と9月の年2回あるが、地域によって取り組み方に工夫や違いはあるか。
- 2) のぼり旗等作成委託料は毎年予算化されており、平成30年度決算427,680円、令和元年度決算154,000円、令和2年度は予算額1,056,000円に対し、決算額814,000円と従来より高額となっているが、決算の内訳はどのようなか。また、どのような取り組みを行い、どのような効果を狙ったのか。

3 犯罪のないまちづくり推進事業について

- 1) 詐欺被害は後を絶たない。高齢者のみならず若者もターゲットになっている。コロナ禍での新たな手口はどのようなものがあるのか。
- 2) 今後、子どもたちにはインターネットを通じて様々なトラブルが想定されるが、その対策について、専門性の高いかたと協力して取り組む考えはないか。

4 すくすく親子健康づくり事業について

- 1) 地方創生臨時交付金を活用した令和2年7月の補正で出産特別給付金の概要は、令和2年4月28日以降に住民登録された新生児で出産予定日が令和3年2月1日までの子どもが10万円の給付金対象となり、更に出生後1年以上市内在住の見込みであることが条件であった。122人を見込み、1,220万円の補正予算であったが、決算額1,100万円の概要はどのようなか。
- 2) 第3子以降の出産における出産費用助成は23名が申請し決算額132万円となっている。平均すると57,000円となるが23名の助成内訳はどのようなか。
- 3) 令和2年度の出生人数は150人程度。何人目の子どもかを問わず出生届が提出された時に、お祝いの商品券か紙オムツ等を贈呈してはどうか。

5 社会福祉協議会助成事業について

- 1) 災害ボランティアセンター支援者登録者55人の中に防災士の登録者はいるのか。
- 2) 避難所運営において女性の視点も重要である。災害ボランティアセンター支援者登録者の中に女性は何人いるのか。
- 3) 災害ボランティアセンターの運営体制強化について、関係機関と20回連携されたが、その関係機関との連携内容はどのようなか。その中に防災研修は含まれているか。
- 4) 地域福祉活動の中核を担う社会福祉協議会は支援が必要なかたの状況が把握できる立場にあることから、生活支援の一環としてフードバンク事業を取り組んではいかがか。

1 歳入（市税）について

- 1) 市税の収入済額が予算額を上回った理由はどのようなか。
- 2) 今後の納付推移はどのようなか。
- 3) 不納欠損の状況と取り扱いはどのようなか。

2 スマート自治体推進事業について

- 1) 情報化関連業務委託の内容と効果はどのようなか。
- 2) Web会議やテレワーク環境整備の内容と効果はどのようなか。
- 3) テレワーク環境設定作業委託の内容はどのようなか。

3 妙高山麓ゆめ基金事業について

- 1) 寄附金額の推移はどのようなか。
- 2) 返礼品について、内容を充実させる考えはあるか。
- 3) 安定した財源確保に向けて、リピーターはどのようなか。

4 病児保育室運営事業について

- 1) 利用状況の推移はどのようなか。
- 2) 保護者からの要望は把握しているか。その対応はどうか。
- 3) 今後の課題はどのようなか。

5 子どもの通学等対策事業について

- 1) 通学路における歩道の有無等点検確認を行っているか。歩道の確保に向けた整備の考えはあるか。
- 2) 通学におけるスクールバス及びタクシー利用の考え方はどのようなか。

6 特色ある教育活動支援事業について

- 1) コロナ禍における活動の課題と対策はどのようなか。

1 地域づくり応援事業について

- 1) 地域づくり協働センターのサポートの実態はどのようなか。
- 2) 持続可能な地域づくりとはどのような内容か。
- 3) 高齢化の進んだ地域での除雪体制やボランティア事業等に、妙高里山応援団等からの共助活動は考えられないか。

2 戸籍住民基本台帳整備事業について

国のマイナポイント事業の実施にあわせ、申請受け付け・交付体制の強化やマイナンバーカード活用の周知、出張申請受け付けなどに取り組まれたが、マイナンバーカードがなぜ必要なかを明確に説明がされていない。行政にとっての利便性や、市民にとってのメリットとデメリットはどのようなか。

3 観光誘客推進事業の誘客支援について

- 1) 観光事業者等ステップアップ応援事業における各団体への支援について、成果と評価はどのようなか。
- 2) コロナ禍の影響により思いどおりの成果は得られなかったと思うが、今後の事業に活かすため、どのような教訓が得られたと考えているか。
- 3) コロナ禍の影響で中止となった事業等について、今後の対応をどのように考えているか。

4 雪国妙高住まいの克雪対策推進事業について

- 1) 補助実績は1件の66万円だが、この実態をどのように見ているか。
- 2) 現在は安全対策への補助金となっているが、今後は雪下ろしに伴う負担軽減と危険防止の観点で、状況に応じて他の補助金等との併用についての考えはどのようなか。

5 消防費関係について

- 1) 非常備消防費について
地域の人口減少対応とともに、団員の確保が困難になってきている。今後の組織対応についての対策等はどのようなか。
- 2) コミュニティ防災組織育成推進事業について
自主防災組織の実態と活動内容・課題はどのようなか。
- 3) 消防施設整備事業について
消防団の統合等も進められてきているが、管理実態と課題はどのようなか。
- 4) 災害対策事業について
コロナ禍の中、避難所対応の訓練等はどのようなか。